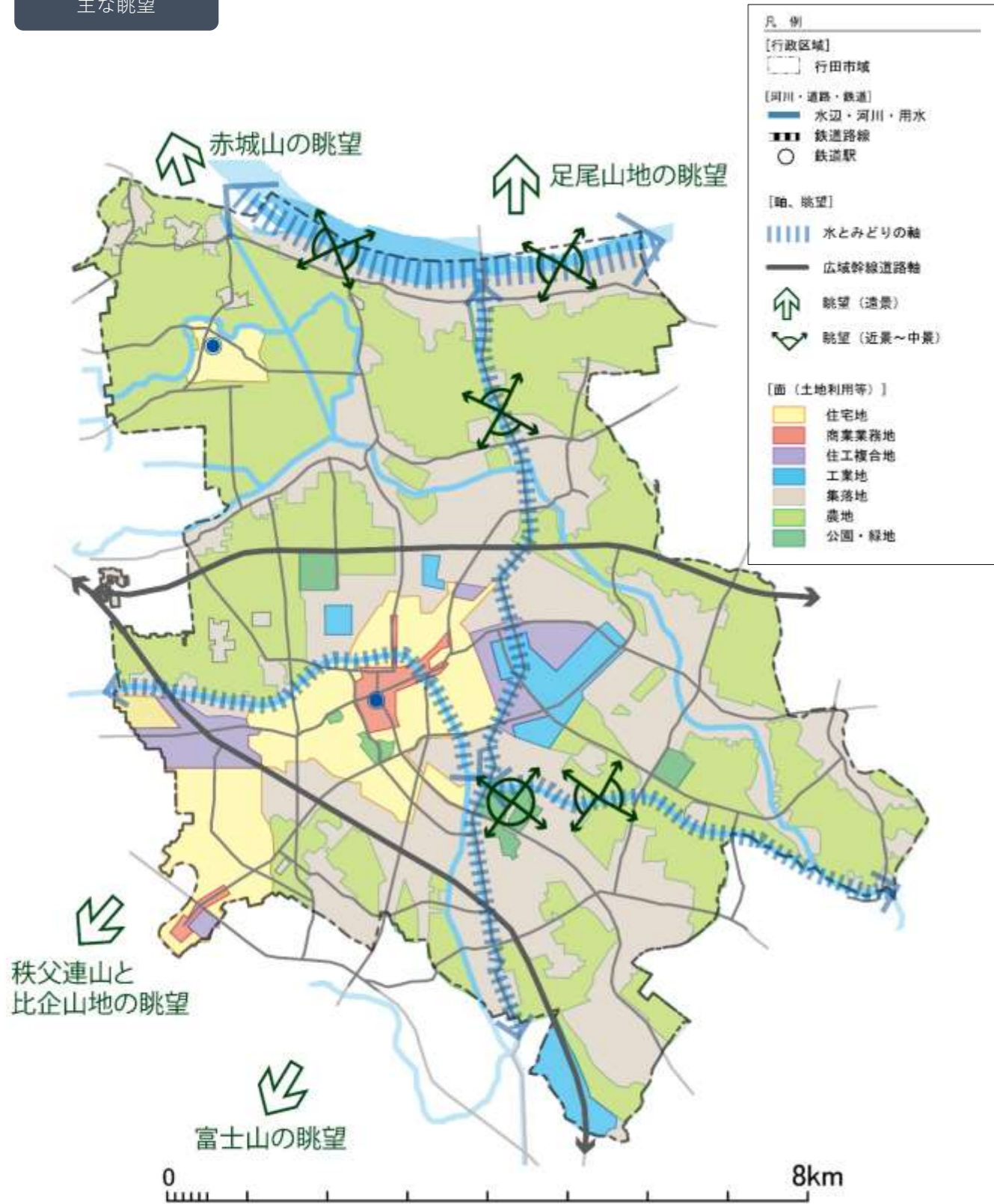


資料3 景観特性、課題と景観形成の方向性について

	主な対象	景観構造別の特性（行田の今の景観）	景観形成の方向性（課題を含む）
<p><b>上位・関連計画の将来像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●行田市総合振興計画（令和3年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・いにしえと未来を紡ぐ 誇れるまちぎょうだ</li> </ul> </li> <li>●都市計画マスタープラン（平成25年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷の少ない集約・連携型の都市づくり</li> <li>・都市拠点、交流拠点、水とみどりの拠点、産業拠点、地域コミュニティ拠点</li> </ul> </li> <li>●行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画（平成26年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を核としたまちづくり</li> <li>・モデル地区「行田市駅周辺の歴史的建築物が集積するエリア」</li> </ul> </li> <li>●景観形成基本計画（平成11年） <ol style="list-style-type: none"> <li>①場所の魅力を守り、創り、育てる</li> <li>②モノ、コト、場所をつなぐ</li> <li>③ゾーンの個性をつくる</li> </ol> </li> </ul> <p>資料 2-1・P1-2</p>	<p><b>人の営み</b></p> <p><b>地域行事や祭礼、環境美化や緑化の活動など景観を守り・育む活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭礼、イベント</li> <li>・自治会、市民団体、企業等の地域活動</li> <li>・店先や家先の装飾</li> </ul> <p><b>近代以降に形成された市街地や道路等の都市施設</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅系市街地</li> <li>・商業系市街地（駅周辺）</li> <li>・工業系市街地</li> <li>・幹線道路沿道</li> <li>・公園</li> <li>・公共施設など</li> </ul> <p><b>まち並み・暮らし</b></p>	<p><b>まちに彩りをもたらす活動や関わりがつくる景観</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●古代蓮の開花や花手水の取組など四季折々の花木が市民の潤いとなっている</li> <li>●地域で受け継がれた祭礼・行事や市内外から人が集まるイベントなどの活動によりにぎわいが創出されている（アンケートで高評価）</li> <li>●足袋蔵等歴史的資源や河川環境の保全活用、道路沿道や街区公園の植栽など市民団体等の活動により景観がつけられている</li> </ul> <p>資料 2-1 「P9 人の営み景観」「P9 心象景観」 / 資料 2-2 まち並み調査 / 資料 2-3 意識調査</p> <p><b>住・商・工の市街地によるまとまりのある景観</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業手法や建築年次等の違いにより一定のまとまりある落ち着いた住宅地景観が形成されている</li> <li>●駅周辺など商業地はコンパクトな低中層市街地となっており、多様な業態が立地している（アンケートで低評価）</li> <li>●工業団地は住工の調和、工業地景観の誘導が図られている</li> <li>●河川水路沿いの桜並木、イチヨウ並木、大規模な公園などが特徴的な景観を形成している（アンケートで高評価）</li> </ul> <p>資料 2-1 「P6 まち並み・暮らしの景観」「P9 心象景観」 / 資料 2-2 まち並み調査 / 資料 2-3 意識調査</p>	<p><b>景観形成の方向性（課題を含む）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●既存の取組の周知・連携、次世代への継承（優良な活動事例の発信、交流イベント等）（アンケートで課題意識あり）</li> <li>●市民等と景観資源を掘り起こし、磨き上げる取組</li> <li>●景観学習の実施など市民の愛着の醸成（アンケートで期待大）</li> <li>●景観的魅力の市内外への発信（ブランディング※）</li> </ul> <p>※地域の魅力を引出し、観光や移住による地域活性化を促すための戦略的な取組のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●商業系：駅周辺の修景、にぎわいのあるまち並みの形成、安全で快適な歩行者空間、滞留空間の創出（アンケートで重点エリア「行田市駅・行田市駅周辺」）</li> <li>●住宅系：落ち着いた色彩、規則性のある形態の住宅地の維持・誘導、緑豊かな外構など家先の景観づくりの推進</li> <li>●工業系：良好な工業地景観の維持・誘導、敷地内の植栽、道路、公園等の維持管理</li> <li>●その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設や都市公園の整備改修における行田らしい景観への誘導</li> <li>・景観形成上重要な公園や街路樹の地域参加を含めた適正な維持管理体制の検討</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>景観関連施策の蓄積</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●行田市駅、行田市役所周辺 <ul style="list-style-type: none"> <li>・足袋蔵、歴史的建物の改修、活用</li> <li>・店舗等のファサード改修</li> <li>・歴史的街路整備</li> <li>・街なかサイン整備</li> <li>・イベントの実施 など</li> </ul> </li> <li>●JR 行田市駅周辺の整備</li> <li>●河川用水 <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川沿いの遊歩道や親水護岸整備</li> <li>・案内サイン整備</li> <li>・イベントの実施 など</li> </ul> </li> <li>●さきたま古墳公園、古代蓮の里周辺 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園整備</li> <li>・埼玉古墳群を結ぶ回遊動線づくり</li> <li>・田んぼアート、イルミネーション等</li> </ul> </li> <li>●埼玉県景観計画・景観条例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模建築物の景観誘導</li> </ul> </li> </ul> <p>資料 2-1・P3</p>	<p><b>歴史・文化</b></p> <p><b>自然条件や時代背景により形成された遺跡や城・街道・継承された資源等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足袋蔵、足袋工場</li> <li>・忍城址、城下町、石田堤</li> <li>・古墳、遺跡</li> <li>・寺社仏閣、祠堂</li> </ul> <p><b>景観の基盤となる自然的条件と農地等田園的要素</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利根川、荒川、利根大堰、中小河川、用水路</li> <li>・農地と集落</li> <li>・湧水地、古流路跡(※)</li> <li>・河岸</li> </ul> <p>※昔の河川や用水路の跡</p> <p><b>自然・田園</b></p>	<p><b>古代から現代にいたる多層的な歴史文化が息づく景観</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●古墳や遺跡は市民に親しまれるランドマークとなっている（アンケートで高評価 / 市歌校歌）</li> <li>●再建された忍城址と周辺は歴史的シンボルであり、交流や憩いの場・ハレの舞台となっている（アンケートで高評価 / 市歌校歌・創作の舞台）</li> <li>●城下町の町割りや旧街道が残るまちなみとなっている</li> <li>●足袋蔵・足袋工場が歴史的資源となっている</li> </ul> <p>資料 2-1 「P6 歴史・文化景観」「P9 心象景観」 / 資料 2-2 まち並み調査 / 資料 2-3 意識調査</p> <p><b>発展を支えてきた水と農の景観</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●利根川と荒川に育まれた低地と秩父連山や赤城山、富士山などの山々が眺望できる（市歌校歌）</li> <li>●河川や用水路沿いに整備された親水護岸や緑道は水辺景観を形成し、イベントや憩いの場となっている（アンケートで低評価）</li> <li>●歴史を物語る土木的な資産が点在している</li> <li>●二毛作による彩りが美しい農地と屋敷林の残る集落が点在している（市歌校歌）</li> </ul> <p>資料 2-1 「P4 自然・田園景観」「P9 心象景観」 / 資料 2-2 まち並み調査 / 資料 2-3 意識調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行田市駅・忍城址周辺は重点的に景観形成に取り組むエリアとして目指す姿を描き、景観ルールや景観整備事業、市民等の担い手と協働したマネジメントを推進（アンケートで重点エリア「忍城址周辺」「水城公園」）</li> <li>●さきたま古墳公園、古代蓮の里周辺の景観の誘導及び保全（アンケートで重点エリア「さきたま古墳」）</li> <li>●足袋産業に関する歴史的資源の保全・活用の推進</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●山々の眺望景観の保全、眺望ポイントの整備</li> <li>●利根大堰周辺エリアの魅力化・拠点性向上</li> <li>●水辺空間（親水護岸や緑道等）整備・維持管理活用のマネジメント（アンケートで重点エリア「河川水路」）</li> <li>●土木遺産（堰・橋・門樋など）の保全活用</li> <li>●田園景観と調和しない建築物やヤード、太陽光パネル等の規制・誘導（アンケートで課題意識あり）</li> </ul>

主な眺望



身近な景観

